

# 荒々しい岩石海岸の入り江にできた小さな漁港

# 宇日・田久日コース



## 山陰海岸ジオパーク 散策モデルコース

切り立った断崖が続く岩石海岸にある宇日と田久日は、リアス海岸の入り江にできた小さな漁村です。山から真水が流れ込み、天然の漁港としても利用できる入り江を人々は生活の場を選びました。宇日・田久日周辺は硬い岩石が多くごつごつした岩場が続く、周辺の海は急深で潮当たりも良いので、多くの魚介類がとれるよい漁場となっています。地元の人々は現在も沿岸漁業を続けており、良質のサザエやアワビ、ワカメなどが水揚げされています。



**クイズ**  
なぜ取れないの?  
(答えは裏面へ!)



**① 弁天社**  
石灯籠(日本海が開くころの凝灰岩で作られている)

**② 青島(グリーンタフ)**  
防風壁 冬の暴風波浪よけ

**③ 越中治郎兵衛の碑**  
注目! 屋根の上!  
公民館の棟石 凝灰岩が使われている  
田久日のいくつかの家屋では、強風で屋根が飛ばされないように周辺でとれる凝灰岩を棟石に利用している。

**④ 三宝荒大神**  
天然の岩を使った石垣  
田久日の集落は、狭い谷沿いに立地するため急斜面が多く、石垣を築いて家を建てる。

**⑤ 才の神古墳**  
鳥居もグリーンタフ! 風化侵食している。

**③ 千畳**  
絶景ポイント!  
竹野海岸や猫崎半島が見えるよ!

**① 小石の浜**  
おすすめ! お弁当を食べるならココ!

**② 宇日の舟屋**  
おすすめ!  
クジラとカメの供養塔

**④ 三柱神社**  
津波避難場所

**⑤ 柱状節理と水田跡**  
柱状節理

黒島(松脂岩)

宇日の舟隠し

松脂岩

古墳(現在は畑)

ミニ柱状節理(川を渡る必要あり)

水田跡

公民館(かつての分校) 津波避難場所

階段を降りて浜へ

スタート

宇日コース	
スタート	*時間は徒歩
駐車場	3分 ↓ 約50m
① 小石の浜	3分 ↓ 約50m
② 宇日の舟屋	5分 ↓ 約100m
③ 千畳	10分 ↓ 約200m
④ 三柱神社	25分 ↓ 約500m
⑤ 柱状節理と水田跡	25分 ↓ 約500m
駐車場	
総移動時間	約1時間10分
全行程	約1.4km

田久日コース	
スタート	*時間は徒歩
駐車場	3分 ↓ 約50m
① 弁天社	5分 ↓ 約100m
② 青島(グリーンタフ)	15分 ↓ 約300m
③ 越中治郎兵衛の碑	10分 ↓ 約200m
④ 三宝荒大神	40分 ↓ 約1km
⑤ 才の神古墳	40分 ↓ 約1.2km
駐車場	
総移動時間	約2時間
全行程	約2.9km

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。危険な場所や立ち入り禁止の場所には、入らないようにしてください。持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!

- 凡例
- 宇日コース
  - 田久日コース
  - 宇日・田久日連絡路
  - 道順
  - 説明看板
  - 主な見どころ
  - 駐車場
  - トイレ
  - 撮影スポット
  - バス停
  - 足元・波浪注意
  - 交通安全確認
  - 水田(跡)
  - 畑
- 海岸部は高波などに十分注意し、悪天時には海に近づかないでください。

# みどころいっぱい 宇日・田久日

## クイズの答え

この岩は礫岩の一部で岩盤にくっついています。礫は固いので削られず、一方で周辺の細かい粒子は削られてなくなるので、礫が飛び出すようになりました。

宇日

### ① 小石の浜



宇日の浜は丸い形をした小石でできています。波の力で石が動くことによって角が削られ、このような形になりました。ほとんど小石しかないのは、砂などの細かい粒子が波の力などで海へ流されてしまうためだと考えられます。ハート形など面白い形の小石もあります。探してみましょう!

宇日

### ② 宇日の舟屋



小石の浜には、海側に入りの建物がある数棟並んでいます。これは漁船をしまっておく「舟屋」です。天然の良港になるリアス海岸の入り江ですが、冬になり海が荒れると波しぶきが舟や漁具を痛めます。そこで舟屋を作り、舟や漁具を守っているのです。

宇日

### ③ 干置



入り江の西側には置のような平らな地形が広がっています。これは波食棚といい、岩盤が波で削られてできたものです。この岩盤は大小さまざまな角ばった石でできています。日本海ができたころ、河川などで運ばれた花崗岩や火山岩の礫がここにたまり固まりました。地層の重なり模様「斜交層理」も見ることができます。

宇日

### ④ 三柱神社



集落を見守る高台にある神社です。社殿の下に敷き詰められている小石には文字が書かれています。太平洋戦争に出征する若者の無事を祈って、小石の浜の石を拾って文字を書き奉納したものと伝えられています。境内にはウミガメが奉納されており、神社近くの高台にはカメの碑も建てられています。

宇日

### ⑤ 柱状節理と水田跡



集落を上流に行くと、谷に囲まれたなだらかな土地が広がりますが、ここはかつて水田でした。リアス海岸の小さな入り江は平地が少なく、水田を作る場所がほとんどないのですが、比較的谷の傾斜が緩やかな宇日では、沢沿いの緩傾斜地に水田を作ることができました。沢沿いや道沿いでは柱状の模様(柱状節理)が美しい火山岩を見ることができます。

田久日

### ① 弁天社



岩に空いた大きな穴の中に社があります。この岩は固い火山岩(流紋岩)ですが、長い年月の中で風化・侵食され、このような不思議な景観が作られました。弁天社の鳥居はグリーントフでできていますが、これも風化・侵食によって不思議な造形をしています。社殿には、クジラの骨が奉納されています。

田久日

### ② 青島(グリーントフ)



漁船を係留するスロープの西側に緑色になった岩棚があります。緑は青とも言い表され、青い色をした島すなわち青島と呼ばれています。きれいな緑色をしたこの岩はグリーントフと呼ばれ、日本海が拡大するころ、主に水中での火山活動によりできました。

田久日

### ③ 越中治郎兵衛(平盛嗣)の碑



新温泉町～豊岡市の沿岸には、壇ノ浦の戦いで源氏に敗れた平家が落ち延びたとの伝説が数多く残っています。断崖が続く但馬の海岸は、源氏から逃れるのに都合が良かったのかもしれませんが、田久日には平家の侍大将である越中治郎兵衛(平盛嗣)が流れついたとの伝説があり、高台にある公民館のわきに碑が残されています。

田久日

### ④ 三宝荒大神



集落の中ほど、東側の斜面沿いに三宝荒大神の社殿があります。岩肌に張り付くように建てられた拝殿の中は昼でも薄暗く、独特の雰囲気があります。灯籠には周辺でとれるグリーントフが使われている一方、狛犬には島根産の来待石と考えられる砂岩が使われています。

田久日

### ⑤ 才の神古墳

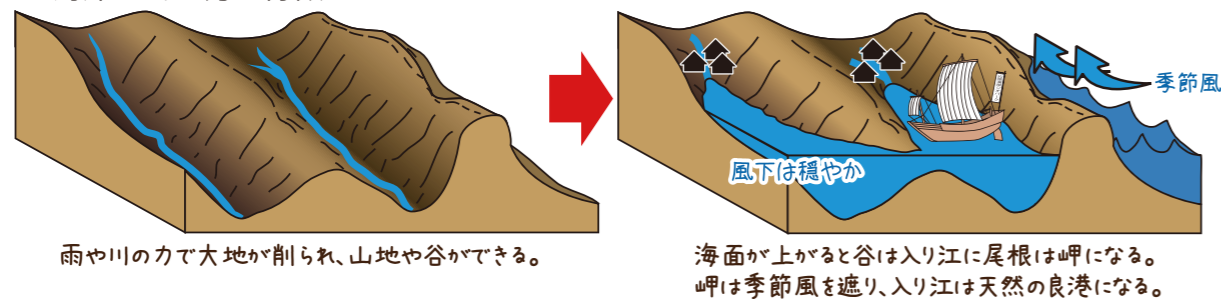


日本海を見下ろす高台にある古墳で、道路沿いに石碑が立っています。道路工事の際に、多数の土器が発見されました。このすぐ右に海岸へ下りる道があり、斜面にはかつて畑がありました。高台から見える海岸からの景色は絶景で、夜には漁火を見ることもできます。

## ジオコラム①

### リアス海岸と人々の暮らし

リアス海岸のでき方と特徴



山地や谷が海面の上昇などにより海に沈んでできるリアス海岸。宇日・田久日両地区は、それぞれリアス海岸の入り江にできた集落です。入り江周辺は生活の場にしやすい反面、海が荒れると強い風雨や高い波に見舞われます。冬になると強い風が正面から吹き付ける田久日では、防風壁や凝灰岩の棟石などで暴風や波浪への対策を施しています。家の外壁として焼杉板を横向きにはるのも対策の一つで、腐りやすい下部だけ交換できるようになっています。



焼杉板を横にはり、棟石に凝灰岩を使った家屋

## ジオコラム②

### 日本海拡大を記録した石「グリーントフ」

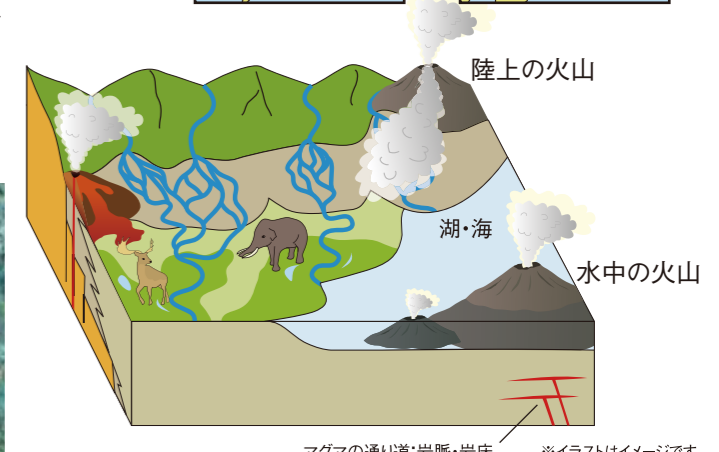
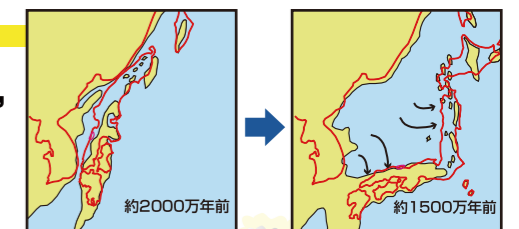
日本海が開いた約2500万年前～1500万年前、日本の各地で火山活動が起きました。火山活動が湖底や海底で起きると、火山岩の成分が変化し、緑色になることがあります(熱水変質)。こうしてできた緑色の火山岩を「グリーントフ(緑色凝灰岩)」といい、日本海側を中心に日本の各地に分布しています。



グリーントフの分布(緑)



青島のグリーントフ



主に湖底や海底での火山活動でグリーントフができる